

令和 8 年度 第 3 回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 令和 8 年 9 月 2 4 日（木）午後 2 時から午後 3 時 0 5 分まで
- 2 会 場 中央図書館 2 階会議室
- 3 出 席 者 委 員：落合会長、伊藤副会長、阿部委員、石井委員、平向委員、堀内委員、渡辺委員、
内田委員、三田地委員、栗林委員、神子委員 計 11 名（欠席 1 名）
事務局：松本中央図書館長、吉崎（中央図書館長補佐兼庶務担当係長）、坂元（花小金
井図書館長）、菅家（中央図書館サービス担当係長）、田中（中央図書館資料担
当係長）、松井（中央図書館歴史公文書・調査担当係長）、加納（上宿図書館長）
計 7 名
- 4 傍 聴 なし
- 5 配付資料
 - ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定（資料No. 1）
 - ・第 5 時小平市こども読書活動推進計画 令和 7 年度進捗状況の概要（資料No. 2－1）
 - ・第 5 次小平市こども読書活動推進計画—こどもが本と出会うために—【令和 7 年度進捗状況】
（資料No. 2－2）
- 6 議事
 - (1) 報告事項
 - ① 図書館運営状況について
 - ・図書館行事等の報告と今後の予定について（資料No. 1）
 - ② 第 5 次こども読書活動推進計画 令和 7 年度進捗状況について（資料No. 2－1、No. 2－2）
 - ③ 市議会 9 月定例会について

報告事項についての意見・質疑応答

会 長：多くの行事を開催しているので、参加者も楽しかったのではないかな。

委 員：資料No. 1、7 月 1 8 日の「ノンフィクション読書チャレンジ」と 1 0 月 4 日の「一箱本棚
を作ろう！」が興味深い。学校でも発信できるよう、これらの情報を共有できると良い。
「ノンフィクション読書チャレンジ」どのようなものか。

事 務 局：「ノンフィクション読書チャレンジ」は、中央図書館のティーンズ書籍が手に取られない
ため、ロビーに机を置き平置きにしたものである。シールが 1 0 枚貼れる台紙とシールを
机に置いておき、1 冊読むごとにシールを貼ってもらい、1 0 冊読んだらペットボトルの
ふたで作成したしおりをプレゼントするという企画である。大人 1 人にプレゼントした。
台紙 5 0 枚、シール 6 0 枚の配布があった。貸出冊数の正確な資料はないが、3 回近く貸
出された本も多くあった。平置きは効果的であると感じている。

副 会 長：具体的にどのような内容の本を並べたのか。

事 務 局：120冊程度あり、リストがあるので後ほど配布する。

副 会 長：対象者は中学生か。

事 務 局：対象者は中学生、高校生、大人でも良い。

委 員：知り合いもチャレンジしていた。大人にも興味深い企画であった。平置きはインパクトが強いので効果的である。

委 員：「一箱本棚を作ろう！」は学校からのチラシで知っていたが、「ノンフィクション読書チャレンジ」は初めて知ったので、もう少し情報が伝わると良い。資料No.2-2のP10、No.10について、ティーンズ委員会で、今後実施したい企画などの具体的意見は出ているか。

事 務 局：ティーンズ委員会担当者が不在のため分からない。ティーンズ委員会に限らず、中学生主体でイベントができるのではないかと模索している。

委 員：資料No.2-2のP6、No.6の「ビブリオバトル」は先生が主導か、生徒が主導か。

事 務 局：指導課によると、3～4校実施したところがあるとのことである。

副 会 長：資料No.2-2のP10、No.8に学習マンガの新規購入を継続購入とあるが、学習マンガの選書基準はあるのか。ストーリーマンガを収集する考えはあるか。

事 務 局：資料収集方針にストーリーマンガは収集しない、とあるため収集の予定はない。マンガが多いが、分類が726.1のものでないものは、購入対象となる。

副 会 長：学習マンガの貸出は多いか。

事 務 局：多い。

副 会 長：資料No.1に記載はないが、11月1日に小川パレットの開館イベントはあるのか。

事 務 局：図書館主催ではないが、11月1日から3日に、小川パレット全体で記念式典などを行う予定である。今後、市報やホームページで広報予定である。

会 長：資料No.2-2のP1、取組項目一覧は、第4次計画から引き継いでいるのか。

事 務 局：引き継いでいる。

会 長：新しい項目はないのか。

事 務 局：「取組項目」の欄に、「【新】」と記載のあるものが新しい項目である。分類2のNo.9、分類3のNo.6、10、22の4つである。

副 会 長：SNS等の弊害が言われているが、こども読書活動推進計画では言及しないのか。

事 務 局：資料No.2-2のP11、No.13「情報リテラシーの向上への支援」で、調べものをする際に正しい情報を扱うことが出来るよう、情報の探し方についての支援をしていきたいと考えている。

副 会 長：AIの弊害についてまでは言及しないのか。

事 務 局：AIの情報もどこまでが正確かは分からないため、AIなどについての使い方講座もできれば良いと考えている。本の情報はほぼ間違いがないため、本と併用したインターネットの使い方をまずはしっかりと伝えていきたい。

委 員：資料No.2-2のP10、No.8の学習マンガについて、「令和3年度に導入」とあるが、令和3年度までは所蔵がなかったのか。

事 務 局：令和3年度まではマンガが含まれる本を所蔵していなかった。

- 会 長：ＳＮＳやＡＩの弊害について、学校ではどのように指導しているのか。
- 委 員：情報の確度という話を、年度当初に校長講話で話している。
- 会 長：保護者からインターネットの使用時間が長すぎるので指導してほしいという要望はあるか。
- 委 員：あるが、家庭で行うよう伝えている。
- 副 会 長：小学生もスマホを持っているのか。
- 委 員：小学１年生から、ＧＰＳ機能としてスマホを持っている児童もいる。
- 会 長：大人が正しい情報とは何か、正しい情報の得方を教えていかなければいけない。
- 委 員：生徒は本を読まないで、ノンフィクションの推進をしてもらえるのはありがたい。
- 会 長：本の背だけでは興味が沸かないので、表紙を見せるのは効果的である。学校図書館では何か工夫をしているのか。
- 委 員：昨年度の取り組みだが、新書を読むために、中学校司書を対象に点検読書という手法を学ぶ研修を行った。８校のうち２校が実際に授業で取り入れ、新書の貸出が増えたとの報告を受けている。また、司書教諭等連絡協議会で、『ネット情報におぼれない学び方』という著作がある梅澤貴典氏にネットに頼りすぎる危険性について、司書教諭と学校司書を対象に講演をしてもらった。司書教諭も学校司書も、ネット情報だけに頼るのではなく、本の重要性についても認識できたのではないかな。
- 委 員：ネット上で映画の舞台とされている場所が、実際には違うという話が印象的だった。児童にも話した。
- 委 員：一次情報に当たることの重要性の話だった。また、児童・生徒に情報収集の方法について伝える際、ＩＣＴの先生なのか、司書教諭なのか、教科担任なのか、誰と連携を取るべきか分からない。学校司書としては広報物として掲示したり図書だよりで広報したりしている。
- 委 員：資料№２－２の報告書の中に、計画の目的が記載されていると良い。実績は数値で出すと良い。「誰のために」「何のために」その取組を行っているかがよりわかりやすくなる。何のために実施しているのかが分からなくなるという形骸化を防ぐことができる。
- 事 務 局：目的は計画に記載しているため、毎年の進捗状況報告書では実績だけを記載している。小平市の他の計画の形式に合わせている。
- 会 長：目標値や達成度をどこかに記載できないか。
- 事 務 局：計画策定にあたり、他市の状況を調査したところ、目標値を設定している市としていない市で半々程度であった。目標値を設定すると統計上集計できないものもある。小平市では、目標値を設定するよりも、読書に親しむ機会を増やすためにあえて設定していない。分かりやすいのは数値設定がされていることであることは承知している。目的については、販売時に金額が高くないよう、ページ数を制限するため、報告書では目的は省略している部署が多い。デジタル形式にするなど、ページ数に制限がなければ、目的を記載するか検討していく。
- 会 長：実績の部分にもう少し記載できると良い。
- 事 務 局：集計できる範囲の数値を記載していく。

(2) 協議事項
なし

(3) その他
なし

(次回、令和8年11月12日(木)午後2時から開催予定)